

# 全佛通信



No. 17 六月号

発行所 東京都中央区築地3~1  
(本願寺内) 全日本仏教会  
電話(54)0313番  
発行人 岩野真 雄  
編集人 柳了 堅  
印刷所 栄昌堂印刷工業株式会社  
購読料 一部12円 1ヶ年分 150円(送共)

## 全日本佛教徒會議

### 比叡山大會の意義

理事長 佐々木泰翁

南方仏紀二千五百年の記念すべきこの年、茲に日本仏教発祥の靈地ともいふべき比叡山上に於て、才四回全日本仏教徒會議を開催することになったのは、意義頗る深きものがあり、その成果にも一入の期待がかけ得られると思ふ。

會議開催の目的従つてその効果には、大小色々のことが挙げられると思ふが、その最も大きいものゝ一つは、日本仏教徒相互の融和親善であらう。日本仏教の特色である宗派仏教は、仏教本来の姿から見て更に、日本の仏教が世界の仏教に伍して、世界最大の仏教国として実力を發揮して行くに於て、今や大き

な欠点として取り上げられねばならぬ様相を呈しつゝあるのではないかとさえ思はれる。お互に宗派の殻に立てこもる結果は、結局も異教徒の如き自讃毀他の言動を見ること積尊帰一の一味仏教であることを忘れて、宛が往々であつた。最近この傾向は著しく反省せられて来たとは云え、その底流はまだ何となくシツクリしないものが残されていることは否定出来まい。

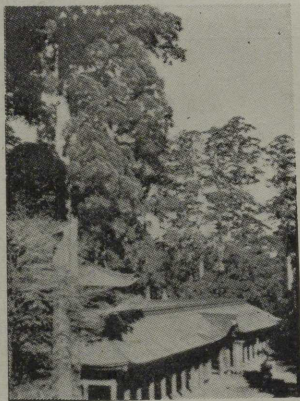
更に日本仏教の現実には、僧と俗、在家と僧(出家とは言はない)の問題がある。仏教本来から言へば、僧と在家者との関係は、能化所化の間柄で、従つて常に能礼所礼の融合体

### 大会開催地比叡山

比叡山は今から一千百六十八年前伝教大師のお開きになつた靈山である。大師が当時お建てになつた御堂は、三つの堂舎より成り、中央の堂は薬師如来を安置し、北の堂は毘沙門天を安置し、南の堂は一切経と天台大師の尊像を安置したものであつて、薬師堂は三つの堂の中央になつて居るゆゑ中堂と称せられた。その後智証大師が、三堂を修覆せられた時、これを合せて一堂となしたのであつて、これが現在の根本中堂の形である。伝教大師は、根本中堂をお建てになつた時、

阿耨多羅三藐三菩提の仏たちが立つ所に冥加あらせたまへと一首の和歌を詠じたもうた。

比叡山は仏道修行の道場として、また仏教学の淵藪として、数世紀にわたつて日本



比叡山 根本中堂

仏教の上に大きな影響感化を与えた。法然上人、親鸞聖人、栄西禪師、道元禪師、日蓮上人等みなここで修行修学しやがて各宗の祖となられたことは周知の通りである。尙才四回全国大会の開催に使用される会場は書院の近くにある宿院であるが、今や本大会を迎えるに際し其の諸準備に万全を期している。

であるべきである。然し日本仏教の今の実情は必ずしもその通りではなく、多分の遊離傾向を見逃し得ない。その他どの団体にもある年齢差や性の相違から来る不融和等、これらを包蔵する日本仏教徒が、宗派を超え年令性別を越えて比叡山上のこの靈地に、而も往昔仏道にひたむきに精進された各々の祖師の所跡を偲びつゝ相会することの、日本仏教今後の展開に如何に有意義であることか。世界の興亡、国家の治乱も、一に掛つて人の和か不和かあるを思へば蓋し思い半ばに過ぎるであらう。

會議の目的の才二は、互に胸襟を開いて日本仏教のよりよき明日について語り合うことにあると思ふ。今日日本の仏教は国内的にも国際的にも色々な問題に直面している。日本再建並に世界平和の確立という我々に課せられている大問題は別として尤もその他の問題の一つ／＼に努力することが結局この大問題への道程ではあるが国内的には仏教自体が包蔵する諸問題の外に、対政治の問題、対外的問題等多種多様であり、更に国際的な問題としては、何といつても世界で一番有力な仏教国であると思はれているだけに、殊に最近わが国を中心とする国際状況が、東亜仏教圏諸国との提携を前提として展開される方向に進みつゝある為めに、その媒体としての日本仏教徒への期待が内外からかなり大きいという事情もあり、而も本年は南方仏紀の二千五百年という記念すべき聖なる年である為めに、南方諸国で色々な記念行事が行はれそれに協力せねばならぬ立場もあつて、日本仏教の対外的になさねばならぬことは誠に多岐多端である。この内外色々な直面している問題を最も有効に最も適切に処理する為めには、出来るだけ多くの人が一堂に会して虚心に話し合ふ、所謂衆智を聚め而も熱情を沸かすことが極めて必要であることは言を俟たない。

その他本大会への期待は極めて多いが要するに、日本仏教の総力結集に對する。我々日仏教徒に課せられた目下の諸問題を如何に総力を挙げて解決するに至らしめるか本大会當局の意義と信じ切にその成果を期待するものである。

昭和三十年度事務報告

四月 八日 国際親善花まつり(於東京朝日生命ホール)

十二日 全日仏婦大会(於東京日比谷公会堂)

マラセケラ博士来日(英文辞典打合せの為)

日宗連理事會(理事長交替)

マ博士歓迎午餐会(於三笠會館)

英文仏教辞典才一回編纂協議會

マ博士講演会(於大正・駒沢大)

英文仏辞典才三回編纂協議會評議員會(理事並役員選出その他)

青少年旅行活動委員會

新興宗教に関する対策懇談會(在京各宗教化部長)

福井県仏結成大会並講演會(長井副會長出席)

福井県小浜市講演會(長井副會長出席)

石川県仏講演會(於金沢)

常務理事會(役員選出其他の件)

日宗連理事會

十四日 神奈川県仏總會

十五日 ジヤイナ教修正来局(幹部と懇談)

十七日 教學委員會(中央講習會其他の件)

十九日 ビルマ留學僧壯行會並ウエサーカ祭(於東京淺草本願寺)

六月 十一日 日宗連理事會(社會を明るくする運動其他の件)

十八日 ヘルシキ平和會議三浦代表にメッセージュを託す

二十八日 英文仏教辭典編纂委員會

常務理事會(ビルマ首相歡迎其他の件)

才二回中央講習會(於東京築地本願寺)

都道府県仏教會代表者會同

新潟県下集中伝道(友松總長出講)

秋田県仏再組織大会(友松總長出席)

ビルマ首相夫妻来日歡迎仏教徒大会(於東京築地本願寺)

日宗連理事會(ビルマ慰靈其付の件)

二十二日 國際委員會(留學僧其他の件)

三十日 世界宗教會議(於東京國際文化會館)

ヴェトナム仏教徒歡迎會

於 般若苑

教學委員會(身延山大会其他の件)

十日 中國仏教協會趙副會長来日

十一日 凌中國(台灣)秘書官来局(支英三藏靈骨分骨の件)

十三日 セイロン大使招待會(於ホテル・テイト)

十七日 趙副會長歡迎會 於 築地本願寺

十八日 中國殉難者慰靈大法要

十九日 於 芝青松寺

九月 五日 パナテイツサ大僧正来日

十四日 中國國慶節 於 中國大使館(役員部長出席)

十八日 安藤正純副會長逝去

二十四日 英文仏教辭典常任委員會

二十八日 各宗仏婦担当責任者會同(仏婦育成について)

二十三日 英文仏教辭典編纂委員會

二十六日 於 京都仏大

十一月 四日 關東甲信越仏社連理事會

常務理事會(身延山大会其他の件)

至 四月 才三回全日本仏教徒會議

身延山大会

六月 六日 常務理事會(カンボジア並に中國仏教協會より仏像、書籍贈呈申出の件)

十日 常務理事會(支英三藏靈骨分骨其他の件)

十五日 社會事業仏教關係者懇談會

日宗連理事會(宗教々・誨師設置基準案其他の件)

十七日 國際委員會(支英三藏分骨其他の件)

二十二日 國際委員會( )

三十三日 常務理事會( )

二十四日 支英三藏靈骨奉持壯行會

二十五日 於 支英三藏靈骨分骨法要

十二月 四日 於 埼玉縣慈恩寺

六月 八日 沖繩返還國民運動協議會結成大会(於 東京青山日本青年館)

昭和三十一年度 一月 十八日 仏紀二千五百年記念事業に関する懇談會

二十一日 全國宗務總長會同(昭和三十一年度予算編成其他の件)

青年旅行活動に全宗団協力決議

二十四日 ビルマ遺骨收集團先発隊出發

六日 日宗連理事會

九日 ビルマ遺骨收集團羽田出發

十一日 仏紀二千五百年協賛記念事業委員會

十二日 英文仏教辭典特別編纂委員會

十七日 常務理事會(昭和三十一年度予算編成其他の件)

十八日 全國都道府県仏教會長會同(昭和三十一年度事業計画其他の件)

二十日 加盟各種団体代表者會同( )

二十一日 花まつり委員會

二十九日 日本カンボジア親善仏教徒大会(於 東京築地本願寺)

三月 三日 日宗連理事會(宗教々・誨師連盟結成其他の件)

八日 花まつり委員會

十三日 岡山県仏發會(若野局長出講)

十四日 教學委員會(比叡山大会其他の件)

十五日 花まつり委員會

十六日 報道關係者招待懇談會

十五日 仏教職員才一回懇談會

二月 五日 於 參議院食堂

三月 十六日 常務理事會(昭和三十一年度予算其他の件)

十七日 ビルマ遺骨收集團宗教代表歡迎會

十八日 於 東京原宿社會事業會館

二十三日 西日本詠歌連盟結成

二十六日 沖繩返還要請國民大会に参加

三十日 於 東京橋公會堂

三十一日 關東仏婦連彼岸會法要集會

才一回時局対策委員會

花まつり委員會

花まつり委員會

花まつり委員會

花まつり委員會

花まつり委員會

花まつり委員會

花まつり委員會

花まつり委員會

花まつり委員會

花まつり委員會

花まつり委員會

花まつり委員會

花まつり委員會

# ビルマの佛紀記念式典に

## 全仏の代表出發

。。。。大谷会長夫妻はセイロンへ。。。。

ビルマのチャッタサンガヤナに於ける才六回仏典結集の完結を祝つて五月二十二日から廿七日まで、ラングーン市に於いて行はれる仏紀二千五百年記念式典に日本政府を代表して長井全仏副会長が鳩山総理のメッセージを持つて五月十九日午前一時羽田空港発でラングーンへ向つて出發した。

なほ全日本仏教会から知恩院門主岸信宏師全仏常務理事中山理々師及び岸門主随行として藤吉慈海国際委員(京大人文研勤務)が代表として二十日午後八時羽田発で出發された。なほ一行は国賓として式典に参列され、岸、長井両代表は月末帰国される。

中山常務理事は東南アジア各国を歴訪し種々打合せすることになつてゐるが特にカンボジアへの訪問は仏教移民について具体策が打出されるものと期待されてゐる。藤吉慈海委員はビルマの宗教事情視察のため約一ヶ月滞在する予定である。

なほそれに先立ち、かねてセイロン政府より国賓として招かれていた大谷光照全仏会長西本願寺門主、同裏方並びに随行者の長尾雅人京大教授(英文仏教百科辞典編纂副委員長)は、去る十七日夜ホテルテイイトに於けるセイロン大使の招待会に、北島総長、中山常務理事らと出席、翌十八日、築地に於ける壮行会に出席され同夜十一時卅分盛大な見送りを受けてBOAC機で空路出發した。なほ同会長夫妻一行はセイロンに於ける式典参列後カルカッタ、マニラ経由で帰国される予定である。

### セイロン大使富山

#### 長野で仏教講演

セイロン国駐日大使ササンタ・ドウ・フオンセカ卿は五月八日中山全仏常務理事同行の下、富山県入善町養照寺(住職藤齋常倫氏)に於ける「花まつり」に参加、多数の聴衆を前に仏教講演会をなし、全仏主唱の全国五百

都市伝道の才一声として多大の成果を得た。ついで翌九日には善光寺へ参拝、同夜大勸進で、又、翌十日には、長野市の商業高校、文芸学院等で、若い層に向つて熱弁をふるひ、各所で深い感銘を受けた。尙大使は五月廿四日京都に於けるウエサーカ祭に出席される外、廿五日から比叡山で開かれる才四回全日本仏教徒会議に引きつゞき出席、メッセージを寄せる事になつてゐる。

### ビルマ長老の歓迎会盛大に

去る五月十五日午後一時から、テラヴァーダ仏教普及の爲四月中旬来日、以来全国で仏教講演旅行を続けて来た、ビルマ仏教の重鎮ウ・テイテイラ・ウ・ニヤッタラ両長老の歓迎懇談会が築地本願寺特別室で長井稚尾副会長以下多数出席の下盛大に開かれた。

### 常務理事会開催

五月十二日午前十時より、築地本願寺に於て常務理事会を開催し、佐々木泰翁、長岡慶信、米山久、前田宥禎、常光浩然、岩野真雄、居敬、奥本大倫、神田尚順(代)、阿部信、山本杉の各氏が出席左記協議事項を協議した。一、本会法人格取得に関する件 右に關しては委員会を結成して研究をなし次期評議員会までに提案できる様に事務を進めることになつた。なほ委員数は理事長を加えて五名とし、その人選は理事長に一任した。二、比叡山大会、ウエサーカ祭大祝典運営の件 岩野局長より大会準備現況の報告があり一同了承した。三、人事に關する件 中山国際局長一身上の都合により辞任の申出があり、後任者選出の件に種々協議が行はれた結果、詮議委員五名を選出し、詮議委員を兼ねた。會議の結果阿部信、長尾副会長を選出した旨を発表、鳥居敬、山本杉、常光浩然、奥本大倫の五氏であつた。四、其の他

## 世界佛陀の日に當つて

### ウエサーカ大祝典の意味

事務総長 北 島 教 眞

南方仏紀二千五百年を記念して、セイロン・ネパール・ビルマ・カンボジア等の諸国はこぞつてウエサーカ祭を行ひ、釈尊の遺徳を讃えるための行事をおこなつてゐる。それではウエサーカとは、一体どういふ意味をもつ言葉であらうか。ほんとうは、ずばり適當な訳語をもつてすればすぐ分るのであるが、まだ一般に認められた訳語がないから、簡単にその意味を説明しよう。ウエサーカとは、五月の満月の日に修行の尊の誕生と成道と涅槃の三つの意味を含め、密にすることが肝要である。

国際関係より、印度、ビルマ方面への代任派遣の件同壮行会の件等の報告があり、種々協議の結果午後一時開会した。

### 評議員会並

#### 全国宗務總長會議の開催

五月二日午後一時より、東京各宗務總長會議、同午後三時より評議員会を京都東本願寺に開催した。午後一時開催の全国宗務總長會議に於ては、別所庶部長の司会により、最終に佐々木理、北島宗務總長、小笠原宗務總長の挨拶あり、次に議長に東本願寺宗務總長宮谷法含師を選出し議事に入つた。議長の挨拶に引続き、小笠原局長昭和三十年度の事業報告を行い、終了後左記協議事項を各局長より説明あり、之に対し熱心な質疑あり一部協議事項は評議員会にゆづることとなり、三時過ぎ、宗務總長會議を終了した。なほ協議事項は、  
1. 昭和三十一年度予算に關する件  
2. 昭和二十九年年度事業計画に關する件  
3. 昭和三十一年度事業計画に關する件  
4. 本会法人格取得に關する件  
5. ウエサーカ大祝典開催の件  
6. 才四回全日本仏教徒會議比叡山大会開催の件  
7. 印度に於ける仏教ユネスコ會議派遣人選の件  
8. 才四回世界仏教徒會議ネパール大会の件  
9. 各都道府県記念伝道並青少年対策運動に關する件  
10. 宗教々々護師連盟結成並大会に關する件  
11. 宗教々々護後援會結成に關する件  
12. 英文仏教百科辞典配本予約依頼の件  
13. 其の他  
宗務總長會議終了後直ちに評議員会を開会し、總長會議と同様理事、總長、総務、局長の挨拶あり、宮谷法含評議員を議長に選出、昭和三十年年度事業報告に続いて前記協議事項の説明を行い、之に對する質疑あり、種々熱心に協議が行はれ、午後五時三十分意義ある評議員会を閉会した。  
当日の出席者は佐々木泰翁、仲井義照、柳生昌泉、森谷法智、奥本大倫、佐藤明義、堀内貴夫、竹村教智、衣笠興道、前田有禎、五十嵐準良、森谷善暉、塚原徳広、芝原卿音、福井健正、池田静潤、木下寂元、森定慈紹、梅園淳良、岡本孝信、辻本天常、松本静成、木全大孝、小泉文翁、小川幽儀、河辺賢雄、壬生照順(代)、井上義典(代)、丸山行雄、山本杉、船口暉子、蒲池繁、村瀬良彦、訓霸信雄、箕輪英章、竹中素仁、猪俣興一(代)の各師であつた。

全日本仏教会昭和三十一年度 歳入歳出豫算案

<p>1 事務人員手當</p> <p>2 事務員俸給</p> <p>3 事務用品費</p> <p>4 事務通信費</p> <p>5 事務消耗費</p> <p>6 印刷費</p> <p>7 雑費</p> <p>8 関西事務所費</p>		<p>1 事務人員手當</p> <p>2 事務員俸給</p> <p>3 事務用品費</p> <p>4 事務通信費</p> <p>5 事務消耗費</p> <p>6 印刷費</p> <p>7 雑費</p> <p>8 関西事務所費</p>	<p>1 各宗派負担金</p> <p>2 各団体負担金</p> <p>3 各宗教徒募金</p> <p>4 寄附金</p> <p>5 未納徵収金</p> <p>6 基金果実</p> <p>7 雑収</p> <p>8 前々年度歳計剰余金</p>	<p>1 各宗派負担金</p> <p>2 各団体負担金</p> <p>3 各宗教徒募金</p> <p>4 寄附金</p> <p>5 未納徵収金</p> <p>6 基金果実</p> <p>7 雑収</p> <p>8 前々年度歳計剰余金</p>	<p>1 歳入</p> <p>2 歳出</p> <p>3 歳入歳出引残金なし</p>	<p>1 歳入</p> <p>2 歳出</p> <p>3 歳入歳出引残金なし</p>
予算額	予算額	予算額	予算額	予算額	予算額	予算額

<p>1 諸費</p> <p>2 花まつり運動費</p> <p>3 中央国際親善花まつり大会費</p> <p>4 全国五百都市伝道費</p>		<p>1 諸費</p> <p>2 花まつり運動費</p> <p>3 中央国際親善花まつり大会費</p> <p>4 全国五百都市伝道費</p>	<p>1 海外使節接待費</p> <p>2 世界文化交流費</p> <p>3 アジア親善運動費</p> <p>4 W.F.B.本部負担金</p> <p>5 渉外費</p> <p>6 退職手当積立金</p> <p>7 雑費</p> <p>8 予備費</p>	<p>1 海外使節接待費</p> <p>2 世界文化交流費</p> <p>3 アジア親善運動費</p> <p>4 W.F.B.本部負担金</p> <p>5 渉外費</p> <p>6 退職手当積立金</p> <p>7 雑費</p> <p>8 予備費</p>	<p>1 総務局費</p> <p>2 評議員會費</p> <p>3 構成団体代表者會同費</p> <p>4 各種委員會費</p> <p>5 局内事項処弁費</p> <p>6 共通事項研究費</p> <p>7 調査費</p> <p>8 勸募費</p> <p>9 組織強化費</p> <p>10 国内宗教徒會議費</p> <p>11 教會諸費</p> <p>12 弘報發行費</p> <p>13 機關紙發行費</p> <p>14 國際宣傳費</p> <p>15 國外運動費</p>	<p>1 總務局費</p> <p>2 評議員會費</p> <p>3 構成団体代表者會同費</p> <p>4 各種委員會費</p> <p>5 局内事項処弁費</p> <p>6 共通事項研究費</p> <p>7 調査費</p> <p>8 勸募費</p> <p>9 組織強化費</p> <p>10 国内宗教徒會議費</p> <p>11 教會諸費</p> <p>12 弘報發行費</p> <p>13 機關紙發行費</p> <p>14 國際宣傳費</p> <p>15 國外運動費</p>
予算額	予算額	予算額	予算額	予算額	予算額	予算額

<p>特別会計 才二号</p> <p>インド・ネパール大会特別経理</p>		<p>特別会計 才一号</p> <p>英文仏教百科大辞典日本編纂所収支予算</p>	<p>1 五百都市伝道準備連絡費</p> <p>2 講師派遣助成費</p> <p>3 青少年旅行運動費</p> <p>4 指導者養成講習會費</p> <p>5 全国寺院を中心とするコース選定費</p> <p>6 懸賞論文募集費</p> <p>7 懸賞論文當選者賞金</p> <p>8 懸賞論文募集並に審査諸費</p> <p>9 當選論文印刷出版費</p> <p>10 地方弘報宣傳費</p> <p>11 各種弘報宣傳費</p> <p>12 ポスター印刷費</p> <p>13 ポスター掲出費</p> <p>14 日本仏教紹介スライド製作費</p> <p>15 報道関係費</p> <p>16 ウエニサーカ大会費</p> <p>17 国外會議準備費</p>	<p>1 五百都市伝道準備連絡費</p> <p>2 講師派遣助成費</p> <p>3 青少年旅行運動費</p> <p>4 指導者養成講習會費</p> <p>5 全国寺院を中心とするコース選定費</p> <p>6 懸賞論文募集費</p> <p>7 懸賞論文當選者賞金</p> <p>8 懸賞論文募集並に審査諸費</p> <p>9 當選論文印刷出版費</p> <p>10 地方弘報宣傳費</p> <p>11 各種弘報宣傳費</p> <p>12 ポスター印刷費</p> <p>13 ポスター掲出費</p> <p>14 日本仏教紹介スライド製作費</p> <p>15 報道関係費</p> <p>16 ウエニサーカ大会費</p> <p>17 国外會議準備費</p>
予算額	予算額	予算額	予算額	